

塾バドミントン部 略年表

年度	塾バドミントン部	バドミントン界
1939昭 14	横浜 YMCA に寄宿していた塾生、山本孝二・佐藤保が YMCA 体育主事広田兼敏氏の指導を受けバドミントンを開始。 仲地幹雄が加わる。	横浜 YMCA にバドミントンクラブ結成。
1940昭 15	山本・仲地の同級生森友甫・諸岡良幸の他、寿祝嵩らも加わる。	日本初の協会、神奈川県バドミントン協会創立。
1942昭 17	バドミントン倶楽部として初の新入部員募集。 慶應義塾バドミントン(鳥球)倶楽部創立総会開催。 文化団体連盟に加盟。	
1943昭 18	新入会員も増え練習会も盛んになったが学徒出陣にてクラブ活動中止。	
1944昭 19 ～ 1945昭 20	戦争のため活動中止	
1946昭 21	六角勉・森友(弟)が中心となりクラブ再建。 部員募集して練習開始。	日本バドミントン協会創立
1947昭 22	塾内対抗競技部新種目団体に加盟。 関東大学リーグ戦(秋季)に優勝。	関東学生バドミントン連盟結成。 慶・明・立の3校にて関東大学リーグ戦開始(3複6単)。
1948昭 23	慶應義塾高校にバドミントン部創部。	第1回全日本選手権大会開催。 関東大学リーグ戦秋季より4校となる。 第1回トマス杯英国グラスゴーにて開催。 関東学生選手権大会開催。
1949昭 24	葉山にて初の合宿。 三田バドミントンクラブ結成。	日本バドミントン協会、日本体育協会へ正式加盟。 第4回国民体育大会の公開競技になる。
1950昭 25	バドミントン部体育会に加盟。 関東大学リーグ戦(秋季)に優勝し7連覇。	全日本学生バドミントン連盟誕生。 第1回学生選手権大会(個人戦)開始。 全国高校体育連盟バドミントン専門部設立。 第5回国民体育大会より正式種目となる。
1951昭 26		第1回大学選手権大会(男子団体戦)開始(第2回学生選手権と併催)。 第1回全国高校選手権大会開催。 関東大学リーグ戦秋季より7校となる。
1952昭 27	慶應義塾女子高校にバドミントン部創部。 関東大学リーグ戦26年秋より3連覇。 全日本大学選手権団体2連覇・個人単複3連覇。 全日本選手権単優勝。	第1回全日本実業団選手権大会開催。 日本協会がIBF(国際バドミントン連盟)に加盟。
1953昭 28	慶早定期戦開始。	
1954昭 29	大学に女子部創部。 関東大学リーグ戦(春・秋)2連覇。 第3回トマス杯アジアゾーン予選に日本代表(主将)として岡道明出場。	第3回トマス杯アジア地区予選に日本初参加。

1956	昭 31	関東学生女子リーグ戦(秋季)で優勝。	第 3 回トマス杯優勝国マラヤより 2 選手を招き親善試合。
1957	昭 32	第 4 回トマス杯アジアゾーン予選に日本代表選手として越川啓出場。	第 4 回トマス杯アジア地区予選に出場してセイロンに 9-0 にて勝利。タイ国戦は棄権。
1958	昭 33	日吉記念館落成。 第 3 回アジア競技大会に日本代表選手として越川啓出場。	第 1 回全日本社会人選手権開催。 第 3 回アジア競技大会(東京大会)にオープン競技として初参加、日本代表(男子)チーム優勝。
1959	昭 34	日吉体育館竣工。 練習場を日吉記念館に移す。	日本協会が ABC(アジアバドミントン連盟)に加盟。
1960	昭 35	第 11 回全日本大学選手権男子団体 8 年ぶりに優勝。 関東大学女子リーグ(春季)1 部 6 位となり 2 部へ降格。	全日本選手権大会が全日本総合選手権大会となる。
1961	昭 36	日吉記念館コート 3 面を 4 面に変更。	日本実業団連盟、日本教職員連盟設立。
1962	昭 37	創部 20 周年記念式典日吉にて挙行。 関東大学女子リーグ(秋季)2 部 6 位となり 3 部へ降格。	第 1 回教職員選手権大会開催。
1963	昭 38		第 53 回全英選手権大会に日本選手として初めて小宮好雄(トヨタ自動車)が出場。 第 3 回ユーパー杯インターゾーン出場のインドネシアチームと親善試合を行い 5-0 にて日本選抜勝つ。
1964	昭 39	第 6 回トマス杯日本代表選手として宮永武司出場。 慶早戦初敗北。 女子メンバー編成できずリーグ戦欠場、4 部へ降格。	第 6 回トマス杯アメリカ地区予選に出場してゾーン優勝してインターゾーンに出場、準決勝でタイに 6-3 で敗れる。 全日本大学・学生選手権大会水鳥シャトルを採用。
1965	昭 40	関東大学リーグ戦(春季)1 部 6 位となり初の 2 部降格。	第 4 回ユーパー杯アジアゾーンに日本女子初参加。
1966	昭 41	大学女子リーグ戦(秋季)4 部優勝 3 部昇格。 第 7 回トマス杯日本代表選手として宮永武司出場。	第 4 回ユーパー杯インターゾーンに日本は初出場・初優勝。 第 2 回国際学生選手権に出場し日本優勝。 全日本大学選手権が全日本学生選手権団体戦となる。
1967	昭 42		第 7 回トマス杯インターゾーンに日本は第 3 位。
1968	昭 43	関東大学リーグ戦(秋季)2 部優勝し 1 部に昇格。	
1969	昭 44	関東大学リーグ戦(秋季)1 部 6 位となり 2 部に降格。 関東大学女子リーグ戦(秋季)3 部優勝し 2 部に昇格。 部内 3 賞を制定。	第 5 回ユーパー杯に日本連続優勝。
1970	昭 45		第 8 回トマス杯アジアゾーン決勝大会(京都)開催、日本 4-5 インドネシア。
1971	昭 46	関東大学女子リーグ戦(秋季)2 部 6 位となり 3 部へ降格。	第 1 回全国中学生大会開催。
1972	昭 47	創部 30 周年記念式典、日吉にて挙行。	第 6 回ユーパー杯に日本 3 連続優勝。 関東大学リーグ戦の試合形式 3 複 4 単に変更。

			第9回トマス杯アジアゾーン東地区決勝大会、東京で開催。日本 5-8 マレーシア。
1974	昭 49	関東大学リーグ戦(秋季)2部優勝し1部に昇格。	
1975	昭 50	関東大学リーグ戦(春季)1部6位となり2部に降格。	第7回ユーパー杯に日本は準優勝、4連覇を逃す。
1976	昭 51	関東大学リーグ戦(春季)2部優勝し1部に昇格。韓国へ初の海外遠征。	第10回トマス杯アジアゾーン決勝大会で日本敗れる。日本 3-6 マレーシア。
1977	昭 52	慶早定期戦14年ぶりに勝利。 関東大学女子リーグ戦(秋季)3部優勝し2部に昇格。	第1回世界選手権(個人)大会開催。 第1回全日本高等専門学校選手権大会開催。
1978	昭 53	関東大学リーグ戦(秋季)1部6位となり2部に降格。	第8回ユーパー杯日本4度目の優勝。
1979	昭 54	関東大学女子リーグ戦(春季)2部優勝し1部に昇格。	第1回日本リーグ始まる。 第1回ワールドチャンピオンカップトーナメント、東京で開催。
1980	昭 55	関東大学女子リーグ戦(春季)1部6位となり2部に降格。 日吉記念館のコート8面となる。	森下一夫、全日本社会人混合ダブルス優勝
1981	昭 56		第9回ユーパー杯日本5度目の優勝。 ワールドカップが第1回ジャパンオープンとなる。
1982	昭 57	関東大学リーグ戦(春季)2部優勝し1部に昇格。 創部40周年記念式典青山ダイヤモンドホールにて挙行。	第1回全日本ジュニア選手権開催。
1983	昭 58	関東大学リーグ戦(春季)早稲田を破り久々の1部5位。 関西遠征。	
1984	昭 59	関東大学リーグ戦(春季)1部6位となり2部に降格。 香港遠征。 筑波大学との交流試合開始。	第1回全日本シニア選手権開催。
1985	昭 60	関東大学女子リーグ戦(秋季)2部6位となり3部に降格。 香港 YMCA チームと交流試合。	
1987	昭 62	第1回ソ連国際ユース大会日本代表選手として諏訪隆博出場。	
1988	昭 63	関東大学女子リーグ戦(春季)3部6位となり4部に降格。 対同志社定期戦開始。	第24回オリンピック(ソウル大会)で公開競技となる。
1989	平 1	慶早定期戦12年ぶりの勝利。	
1990	平 2	関東大学女子リーグ戦(春季)4部優勝し3部に昇格。	
1991	平 3	関東大学リーグ戦(春季)2部6位となり3部に降格。	
1992	平 4	関東大学女子リーグ戦(秋季)3部6位となり4部に降格。 創部50周年記念式典、全日空ホテルにて挙行。	第25回オリンピック(バルセロナ大会)で正式種目となる。
1993	平 5		
1994	平 6		広島アジア大会水井妃佐子準優勝

1995	平 7	関東大学女子リーグ戦(秋季)4部優勝し3部に昇格。	
1996	平 8	関東大学女子リーグ戦(春季)3部6位となり4部に降格。	
1997	平 9	岩部直子 関東選手権 B シングル優勝	
1998	平 10		バンコクアジア大会米倉加奈子優勝
1999	平 11	田添亮新人戦Bブロック優勝、女子主務誕生	
2000	平 12	岩部・野村関東Aベスト4、インカレベスト8。女子主将誕生	
2001	平 13		
2002	平 14	創部 50 周年記念式典、三田キャフェテリアにて挙行予定。	

